



大竹市議会YouTube

名前横の時間はyoutubeの動画の一般質問開始時間です。



1日目



2日目

第5回定例会

一般質問

8名が登壇

【11月28日(1日目)】

山代 英資

(8:07~)

クーリングシェルターの取組について
本市の介護施設の状況について

中野 友博

(36:59~)

大竹市観光振興計画を策定しませんか
大竹市防災の日をつくりませんか

西村 一啓

(1:20:53~)

市内の道路状況や管理・修復等について伺う

小出 哲義

(1:58:26~)

大竹市の定住促進施策を新たな観点から考察する

岡 和明

(2:47:09~)

どんな文化政策を構想していますか

日域 究

(3:11:08~)

不登校の原因はどこにある

【11月29日(2日目)】

小田上 尚典

(1:16~)

小・中学校のタブレット活用、更新について
小・中学校に配置されているICT支援員について

豊川 和也

(55:32~)

カプセルトイ（ガチャガチャ）の活用で大竹市の魅力
アピールへ
来年度の指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の
設置予定について

答

今年度は熱中症特別警戒情報が発表されなかったため、実績はありませんでした。初の試みであり、取組についてはポスターなどで周知に努めました。運用期間中の指定施設ですが、通常時と変わらず利用していただいたと認識しています。

来年度以降の利用拡充については、状況を見ながら検討します。また、民間事業者との協力体制に

問

クーリングシェルターの取組について



やましる ひでただ
山代 英資

答

市内事業所への就労支援・就労継続支援を行うため、12月議会に補正予算を提案しました。

人材確保の問題は、介護・福祉分野だけでなく市全体の問題として優先的に取り組む必要があると認識しています。今後も効果的な支援の手法などについて検討します。

問

本市の介護施設の状況について

については申し出があれば協議をさせていただきます。





なかの ともひろ
中野 友博

大竹市観光振興計画を 策定しませんか

問

2023年3月、下瀬美術館が開業されました。観光の拠点ができ、これから数年後には、道の駅開業が計画されています。

しかし本市には観光の方向性を示す計画・資料が現時点ではありません。これまで以上に関係人口増加に向けた取り組みが必要になります。本市の観光に対する考え・課題について問います。

答

これまででは市のPRの観点から自然や文化的施設の観光資源を活用してきましたが、民間美術館や民間宿泊施設の開業により、観光客だけでなく消費も増加しつつあります。

観光客の滞在時間を伸ばし消費を促せるよう、効果的な取組や施策を行うために、まずは指針の作成が必要と考え、データの分析や作成のタイミングを検討しているところです。

大竹市防災の日を つくりませんか

問

本市では防災リーダー育成に取り組んでいますが、本市が期待する地区での役割について問います。

防災リーダーの課題は、各地区での情報発信、当事者意識を持つため、認識を高めるように働き込むか、防災リーダーの存在をどう認知してもらうかなどがあります。そこで、前述の課題を解決するための取組として行政主導の避難訓練について提案します。

答

防災リーダー育成の取組は、自主防災組織の育成や活性化を目的に実施しています。防災減災のためには自助、共助、公助、それぞれが機能することが重要であり、防災に関する知識や技能を習得した防災リーダーの存在は必要不可欠です。防災リーダーが自主防災活動を牽引することで、地域の防災力を高めていけると考えています。

防災の日のような統一的な防災訓練を実施する予定はありませんが、県の実施する総合防災訓練などの機会に合わせて防災意識を高める取組や周知の手法について検討します。



にしむら かずひろ
西村 一啓

市内の道路状況や 管理・修復等について伺う

問

人口減少が進む中、住みだいまち、住んでよかつたまちを作っていく上で、道路問題は喫緊の課題です。

本市の都市計画道路は、昭和32年に都市計画決定されて現在では37%の達成率と聞いております。この50年余りに中市立戸線、玖波青木線、南栄下白石線等が整備されていますが、幹線道路のひび割れ、路面荒れ、路側線が薄くなっている等の問題や市内の高齢者の通院、買い物等に利用する歩道の整備や段差問題、更には子どもたちの通学路や市内にある水路部分の安全性の確保等々、中長期的な計画や構想は、どのように考えていますか。また、水道事業（管路の交換）や西国街道の修復等を含めた道路事業の取組を伺う。

答

市が管理する道路は非常に長く、職員によるパトロールや点検ではすべての道に目が届いていないのが現状であり、道路補修に対する要望や意見は数多く寄せられています。要望には、見通しの悪い箇所へのカーブミラー設置や白線などの路面標示による通行帯の明確化、歩行者の水路などへの転落防止などがありますが、危険性や緊急性を勘案しながら対応しています。特に通学路は、学校やPTA、道路管理者、警察などが合同点検を行い、危険箇所の対策を行っています。大規模な舗装修繕が必要な場合には予算措置を伴いますので、優先順位を付け計画的に道路修繕に取り組んでいます。

また、水道事業（管路の交換）に係る取組については、道路内の埋設物占有者の更新計画とも調整しながら、修繕を行っています。小方・苦ノ坂の西国街道の一部が斜面崩壊で通行できず、仮設の通路を設けていますが、元の道に接続することができないか検討しています。



西国街道苦ノ坂登り口



こいで てつよし
小出 哲義

大竹市の定住促進施策を 新たな観点から考察する

問

少子化による人口減少と、東京圏への人口の流出は、地方都市が抱える喫緊の課題です。本市では、様々な定住促進の施策が試みられ、一定の成果を上げていますが、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）といった新しい価値観を踏まえて施策の更新ができないかを問います。住みよさランキングにおいて常に上位に評価される大竹市の魅力は、一通りの都市機能を備えながら、自然と人が融合した街であることと考えられます。新しい価値観を持つミレニアル世代が注目してくれることを期待します。また農地法第3条の改正は、中山間地域の新規就農者の支援となると同時に、市街地においても「農のある生活」の可能性を広げたといえます。移住・定住促進を高めるための積極的なアピールとその手法においても検討をお願いします。

答

日本全体で人口減少が続く中、本市においても人口減少が続く事実をしっかりと受け止め、まずは市民の皆さまが、大竹のまちで幸せに暮らし続けていくための住みよいまちづくりに向けた施策を講じていくことが、移住する方への後押しになると考えています。

これまでの取組により、本市は、住みよさランキングで、過去5年以上、県内トップクラスを維持しており、また人口戦略会議が発表した消滅可能性自治体からも脱しています。

ミレニアル世代をターゲットに、本市の特性を活かして生活設計のサポートを行う取組は、人生における幸福感や充実感を実現でき、大変魅力的な取組であると考えていますが、現状で直面している地域課題も山積していることから、優先順位をつけて事業を進めていく必要があります。まずは、ミレニアル世代に対して、子育てがしやすい、住みよい環境という強みをしっかりとPRしていきます。



おか かずあき
岡 和明

どんな文化政策を 構想していますか

問

本市はこれまで文化政策が極めて手薄でした。代表的文化遺産の亀居城は木や雑草で覆われて夏場は踏み込めず、昼間からイノシシが出たり、マムシが出たりして、市民も遠のいています。城や西国街道とのつながりで文化価値の高かった小方旧市街も消滅しかかっています。

令和6年1～9月の訪日外国人客は約2700万人で、その消費額は6兆円近く。国内観光客はその数倍の規模です。国は観光立国を目指しており、その基盤となるのが地域の文化や自然ですが、本市の実情は冒頭の通りで、国の政策に何も貢献せず、市民は訪日客の消費だけで年8兆円の大きな経済分野の恩恵に全くあずかれずにいます。本市は今後どのような文化政策を構想していますか。

答

第1期まちづくり基本計画では、まちへの愛着を育む歴史・文化の保存と継承を推進していくとしています。そのため、手書き和紙など伝統文化の保存や継承の取組をおおたけ手書き和紙保存会と連携して行うほか、郷土の歴史を学ぶ取組を大竹市歴史研究会と連携して行っています。また、文化財保護や郷土の歴史継承の機運を高めていくため、講座の開催や広報などの啓発活動も行っています。そのほかに文化の振興としては、各種文化団体や生涯学習グループへの支援を行い、公民館まつりなどを開催しています。

今後、文化財の保護及び文化の振興を図っていくために、市と教育委員会が連携し、工夫しながら文化政策を推進します。



亀居公園のある桜山から、海と島の冬日絶景



じついき きわむ

日域 究

不登校の原因はどこにある

問

このグラフは文科省の全国不登校児割合の推移です。直近5年間で小学生も中学生も倍増し中学生はなんと6%です。その原因として、長時間保育や放課後児童クラブの長時間化も関係し、大人の監視が無い中で子どもだけで上手に楽しく遊ぶことの経験不足、加えて家族と過ごす時間の不足もあると思われませんか。

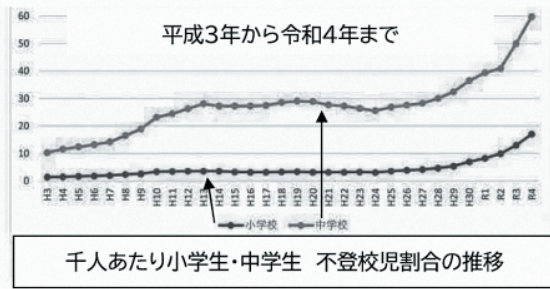
今でも人気のドラえもんですが、あの様な子どもだけの場面はこの世から消えてしまいました。30年前の話ですが、PTAの会議は保育所の終了に合わせ、4時で終わっていました。グラフを見ると当時の不登校児はわずかです。国の施策ではあります教育長のお考えを尋ねます。

答

文部科学省の調査結果では、不登校の原因として考えられるものとして「学業不振、友人関係、学校生活に対してやる気が出ないこと、生活リズムの不調、親子の関わり方」に関するものが高い割合でした。本市においても同様で、特に、「学校生活に対してやる気が出ないこと、生活リズムの不調、不安・抑うつ」に関するものが原因であると考えています。家庭状況と関わりのある原因も考えられますが、それだけが原因で不登校になっているとは考えていません。

また、保育制度（長時間保育）との因果関係については把握していません。

今後、新たな不登校を生じさせない取組を重視し、不登校等児童生徒の社会的自立を支援していきます。



小・中学校のタブレット活用、更新について

問

令和3年から始まったタブレット学習では、どのような課題や成果を感じていますか。

また、タブレットのリース期限などが迫っています。これまでの取組や小・中学校での異なる活用方法を加味した機種を選定をされますか。

加えて、現状は学校ごとに異なるアプリの使用などありますが、統一されるお考えはありますか。

答

タブレット学習に苦手意識をもつ教員がいることや、ICTの活用自体が目的になり、児童生徒にとって、効果的な学びになっていないなどの課題はありますが、これまでの実践の積み上げにより、児童生徒の発達段階に応じた課題の提供ができています。

タブレットの機種選定については、広島県が設置する共同調達を目的とした協議会において、導入するOS部会ごとに仕様を作成します。



おだがみ なおのり

小田上 尚典

問

小・中学校に配置されているICT支援員について

現在、大竹市はICT支援員を配置し4年が経過しています。教育現場の希望に添える支援になつていますか。

支援員と継続してICT活用をステップアップさせていくために複数年の契約が必要だと考えます。

答

アンケートでは、次年度もICT支援員の配置を希望する教員が大多数を占めています。ICT支援員の支援が授業の質の向上につながるよう、学校現場とともに取り組みます。

複数年契約については、委託業者の考え方によって、必ずしも同じ支援員による長期的な支援が担保される訳ではありません。費用面でも、単年契約よりも3年契約とした方が高額であったため、単年契約としています。よりよい契約になるよう努めます。



とよかわ かずや
豊川 和也

カプセルトイ(ガチャガチャ)の活用で大竹市の魅力アピールへ

問 地元ガチャ、街ガチャ等、カプセルトイを活用して地域の魅力を発信する市町村が増えています。本市も夜景の写真キーホルダーやコイちゃんキーホルダーなどを街ガチャにして市役所や公共施設に設置をしませんか。低コストで魅力をアピールできます。

答 現時点では、市が単独で実施することは難しいと考えています。市内外から人々を呼び込む手段の一つとして、今後、観光資源が充実した際には実施に向けた検討ができるよう、他市町の事例など情報収集を行います。



田布施町の街ガチャ
キーホルダー

来年度の指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の設置予定について

問 今年の夏季も災害級の暑さでした。クーリングシェルターが本市でも設置されましたが来年度は民間との協定締結、クーリングシェルター施設に飲用水等の設置、のぼり旗や周知などを強化して市民の安心安全を守っていただきたいと思います。本市のお考えをお聞かせください。

答 今年度は、民間事業者との協定締結の実績はありませんでしたが、申し出があれば協議し、条件が整えば協定を締結し施設を指定します。

施設の指定にあたっては自動販売機が設置されていることを条件としたことや、暑熱避難を目的として施設を開放することから、飲用水等の提供までは考えていません。来年度も今年度と同様に周知の取組を実施しながら状況を見て対応を検討します。



田布施町の街ガチャ

第5回市議会(定例会) 主な議案の審議結果表

議案など	北地 範久	中野 友博	豊川 和也	山代 英資	岡和 明	小出 哲義	末広 天佑	藤川 和弘	中川 智之	小田 上尚典	西村 一啓	山崎 年一	日域 究	細川 雅子	寺岡 公章	審議 結果
議案第60号 定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号 財産の取得について(小型ノンステップバス(こいこいバス))	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号 財産の無償譲渡について(地域情報通信基盤(光ファイバケーブル)設備一式)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号 令和6年度大竹市一般会計補正予算(第5号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第71号 令和6年度大竹市介護保険特別会計補正予算(第2号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号 令和6年度大竹市水道事業会計補正予算(第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第78号 工事請負契約の締結について(大竹駅西口交流広場整備工事)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第79号 工事請負契約の締結について(晴海臨海公園西側駐車場等整備工事)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

一: 議長 ○: 賛成 ●: 反対 欠: 欠席 棄: 棄権